【日本褥瘡学会実態調査への協力に関する情報公開とお知らせ】

当院では、一般社団法人 日本褥瘡学会が実施する臨床研究「褥瘡に関する全国実態調査」に協力しております。 この研究は、過去の診療記録（カルテ情報）のみを使用する観察研究であり、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意をいただく代わりに、研究内容を公開し不参加の機会を保障する「オプトアウト」という仕組みを用いて実施されています。 研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否することができます。また、調査協力を拒否された場合でも、今後の診療において不利益を被ることは一切ございません。

1. 研究課題名 「日本褥瘡学会 褥瘡に関する全国実態調査（第 6 回）」
2. 研究の目的・意義 日本褥瘡学会では、定期的に全国の医療施設・介護施設等を対象とした褥瘡の実態調査を行い、褥瘡の有病率や特徴を報告してきました。これらの結果は、国の診療報酬改定の根拠や、各施設における褥瘡医療・看護ケアの質向上に寄与しています。本調査（第 6 回）は、近年の褥瘡の実態を明らかにし、日本全国の医療の質を向上するための基礎データを得ることを目的としています。
3. 研究の対象となる患者さん 2025 年 10 月 1 日 ～ 2025 年 10 月 31 日 の期間中に、当院において褥瘡の治療やケアを受けられた患者さん
4. 研究に使用する情報（項目） 調査票に基づき、カルテ等から以下の情報を抽出して使用します。 ・患者さんの基本情報（年齢、性別、入院・入所期間、身体・栄養状態、基礎疾患など） ・褥瘡に関する情報（褥瘡の部位、サイズ、重症度［DESIGN-R 等のスコア］、発生原因、実施した治療やケアの内容など） ※提供するデータにはお名前や住所などの個人特定情報は一切含まれず、厳重に匿名化された状態で処理されます。
5. 研究期間 当院倫理委員会承認後 ～ 2030 年 3 月 31 日（予定）
6. データの管理と外部への提供方法 当院で抽出したデータは、個人が特定できないよう完全に匿名化した上で、暗号化等のセキュリティ対策を施した電子システムを用い、共同研究機関である「一般社団法人 日本褥瘡学会（実態調査委員会）」へ提供されます。
7. 研究不参加（利用拒否）のお申し出について ご自身（またはご家族）の診療情報をこの調査に使用されたくない場合は、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

※なお、学会発表や論文等で既に結果が公表された後のお申し出については、データを除外できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【日本褥瘡学会実態調査への協力に関する情報公開とお知らせ】

当院では、以下の臨床研究に協力しています。この研究は、過去のカルテ情報のみを使用する調査であり、対象となる患者さんから直接同意をいただく代わりに、研究内容を公開し不参加の機会を保障する「オプトアウト」という仕組みを用いています。
研究への協力を希望されない場合はいつでも拒否でき、**拒否された場合でも今後の診療において不利益を被ることは一切ございません**。

1. 研究課題名

「日本褥瘡学会 第６回実態調査」

2. 研究の目的

全国の褥瘡（床ずれ）の発生状況や治療・ケアの実態を明らかにし、日本全国の医療・看護の質向上に役立てることを目的としています。

3. 対象となる患者さん

2025 年 10 月 1 日 ～ 2025 年 10 月 31 日 の期間中、当院で褥瘡の治療やケアを受けられた方

4. 研究に使用する情報

基本情報：年齢、性別、入院期間、身体・栄養状態、基礎疾患など
褥瘡情報：褥瘡の部位、サイズ、重症度（スコア）、発生原因、治療・ケア内容
※お名前や住所などの個人特定情報は一切含まれず、データは完全に匿名化されます。

5. 研究期間

倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日（予定）

6. データの管理・提供先

データは完全匿名化のうえ、セキュリティ対策を施した電子システムを用いて共同研究機関である「一般社団法人 日本褥瘡学会」へ提供されます。

7. 研究への不参加（データ利用拒否）について

ご自身のデータをこの調査に使用されたくない場合は、下記窓口までご連絡ください。
（※学会発表等で既に結果が公表された後のお申し出については、データを除外できない場合があります）

窓口：聖稜リハビリテーション病院　看護部
電話：054-639-0112（代表）